

関東ふれあいの道(千葉)㉑アジサイのみち

2023年7月14日 池内淑皓

2023年4月9日(日)快晴 暑いくらい。朝、安房小湊駅から「㉑海と森をつなぐみち」を歩いて、ゴールの浦内山県民の森に午前中に到着した。

引き続きコース ㉑「あじさいのみち」を歩き繋げる。天気も良いし素敵な林道歩きが楽しめそう。



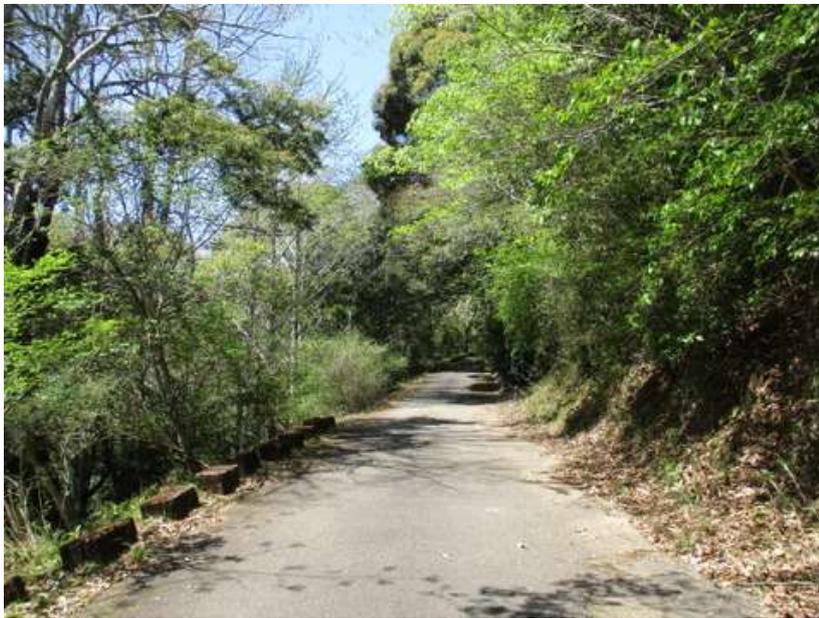
㉑「あじさいのみち」コース案内板 (首都圏自然歩道連絡協議会)



コース図概念図(県民の森→麻綿原高原→清澄寺→清澄寺バス停)



コース歩程表



明治 100 年記念事業として整備された内浦山県民の森歩道を歩き続ける



この林道は一杯水林道と名付けられて、この先麻綿原(まめんばら)高原へと続く



当然、この道は関東ふれあいの道にも使われているから、石標もある



ここは、また県民の森公園の遊歩道(房総ふれあいの道)ともなっている



手作りの道標も風情があっいいね



この先崖があると言う



右側は断崖となっている



いままで千葉を歩いて来て、太古の地層がむき出しで見えるところは、多かったが



これ程スケールの大きな地層は稀だ。千葉県全土が海底にあった太古の時代の泥岩・砂岩層だと言う



崖地が終わると、またなだらかな林道が高原へと案内してくれる



やっと関東ふれあいの道道標を見つけた、正直ホッとする



近くには石柱もあった



麻綿原高原入口と清澄寺への交差点



右折して、本コースのタイトル、アジサイの道に入る



20万株の紫陽花が植えられていると言う、6月になれば、道の両側はアジサイで埋まる名所だ



その奥まった所に、ひっそりと妙法生寺と言う日蓮宗の寺域がある



清澄寺へ向かって歩き始めたら、進入禁止のフェンス。オヨヨ！



崖崩れのため通行止め アウト。内浦山の案内板に表示してくれれば良いのに



仕方がないから、神明川に沿った違う林道を下って里に出る



2時間かけて下り、安房天津駅には16時20分に着いた。予定外で疲れた



駅から歩いて10分、海岸近くの宿に着く。リゾートホテル気分の素敵な宿だった

[参考コースタイム] 内浦山県民の森(11:40)→昼→麻綿原高原入口(13:35)→高原(13:55)
→清澄寺分岐(14:07)→安房天津駅(16:20) 歩行 4 時間 40 分(18.8km)

この項完

「関東ふれあいの道(千葉)㊹モミ・ツガのみち」に続く